

これから何かやりたいことを探している方、地域の文化を知りたい方へ。

令和4年度「伝統文化復元・活性化共同プログラム」採択事業

《播州音頭踊りワークショップ》

音頭と踊りを 体験してみよう！



兵庫県・播州地域で受け継がれてきた「播州音頭踊り」。独特の節回しとテンポ。そして農耕作業から取られた踊り。

田んぼに蒔いた種をカラスから守る踊りも習います。



サンプル動画



東条播州音頭踊り保存会



社播州音頭踊り保存会



播州音頭は、

現代のラップバトルだ!?

本来、播州音頭・踊りは「音頭取り」と呼ばれる唄い手二人と太鼓打ち一人の三人がやぐらの上で唄い、その周りを多くの踊り手が囲んで夜通し行われるものであった。

太鼓打ちの囃子によって、音頭取り二人が互いの技術を競い合いながら、節回しや音程、声の長短を即興的に変化させ、掛け合いで唄い、演目の物語を唄い継ぐ様は、現代のラップバトルのようだという。

ワークショップの内容は【裏面】をご覧ください。

5/21 日

13:30~15:30

参加費無料 要申込(随時、受付中)

京極 WORKS(京極朋彦)の、本事業に関するエッセイ。



やしろ国際学習塾 L.O.C.ホール

講師 東条播州音頭踊り保存会
社播州音頭踊り保存会
伊東歌織(京極 WORKS)

お問い合わせ
お申し込み

公益財団法人 加東文化振興財団
TEL 0795-42-7700 (やしろ国際学習塾内)
受付時間 9:00-17:00 休館日 水曜・祝日の翌日

主催：社播州音頭踊り保存会、東条播州音頭踊り保存会、京極 WORKS
伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス、加東文化振興財団

※掲載内容は予定であり、変更・中止になる場合があります。

【内容】

① 音頭体験

東条播州音頭踊り保存会

かんざきよごろうあずまくだり

演目：『神崎与五郎東下り』

「成る堪忍は唯もする
成らぬ堪忍するが 真の堪忍じゃ」

途中、「河内音頭」や
「追分節（馬子唄）」も出る
聞き所の多い作品です。



●あらすじ：赤穂の浪人・神崎与五郎は、大石内蔵助の内命を帯びて、京から江戸へ向かった。

やがてさしかかる箱根の山の、とある茶屋で休んでいるところに、峠の馬方・丑五郎というならず者に言いがかりをつけられる。しかし討ち入りという大事を前に、与五郎は我慢を重ねて恥辱を受けたまま去る。

後日、それが義士の一人であったと知った丑五郎は、深い後悔に泣き伏したのだった……。

② 踊り体験

東条播州音頭踊り保存会 社播州音頭踊り保存会



東条と社の踊り ●●●●●
それぞれを体験します♪

手ぬぐいをお持ちの方は、
ご持参ください。
無い方はご用意します。



ひとつひとつの踊りの意味を知ると・・・
先人の日々の暮らしが見えてくるような気がします。

③ 播州音頭踊り実演

社播州音頭踊り保存会

三つ違いの兄さんと 云うて暮らしているうちに
つばさかれいげんき

演目：『壺坂靈験記』

94歳の音頭取り・小西小雀（こじゃく）、
衰えしらずの美声で大作を熱演！

今回は、小西小雀しか唄えない難しい節を
解説付きでご披露いただく予定です。

盲目の沢市と女房お里の物語。壺坂の観音に密かに願掛け詣りするお里と妻を思う沢市の夫婦愛の物語をご鑑賞いただきます。

節回しなどに情を感じるように演じるのが難しいという大作です。

